

日本放射線技術学会中部部会セミナー **第13回CT立山セミナー**



プログラム「被ばく低減の現状と課題：どこまで線量を下げられますか？」

総合司会 石川県立中央病院 奥村 悠佑

1日目 7月7日 (土)

開会の挨拶 CT研究会代表世話人 安達 登志樹

《シンポジウム》

13:40~15:30

座長 富山大学附属病院 橋本 将彦

「被ばく低減の現状と課題」

- CTDIと実効線量をきちんと理解しよう 金沢大学医薬保健研究域 松原 孝祐
- 被ばく低減のためのAEC活用法 名古屋市立大学病院 山田 雅人先生
- 逐次近似法による画質と被ばく低減技術 福井大学附属病院 林 亮子先生
- 低線量CTの画質 中津川市民病院 原 孝則先生

《特別講演》

15:40~16:40

座長 金沢大学医薬保健研究域 松原 孝祐

「低線量放射線の人体への影響」

放射線医学総合研究所 島田 義也先生

《イブニングセミナー》

20:00~22:00

進行役 金沢大学附属病院 高田 忠徳

「低線量甲子園 : ~ここまで線量を下げられました~」

北陸CT研究会関連施設の各CT装置の低線量限界を競います。

CT研究会世話人

2日目 7月8日 (日)

《メーカー トピックス》

9:00~10:50

座長 金沢大学附属病院 三井 渉

被ばく低減技術を中心に

東芝、日立、GE、SIEMENS、Philips

《学位取得記念講演》

11:00~11:50

座長 福井大学附属病院 安達 登志樹

「脳血流画像は臨床にどのように役立つか？」

福井大学附属病院 藤原 康博先生

閉会の挨拶

CT研究会世話人

伊藤 一